

第3回循環器病対策情報センター講演会

「循環器病対策におけるロジックモデルと指標を活用した評価実装～地域診断と実効的PDCA サイクルへの応用～」 開催のお知らせ

循環器病対策情報センター長
飯原弘二

皆さん、こんにちは！

現在、循環器病対策情報センターは、令和8年度の「脳卒中・心臓病等の対策に係る総合推進事業」の本格的な実施に向けて、厚生労働省との定期的な会合を進めています。その4つの柱の中で、「第2期循環器病対策推進基本計画の進捗管理に関する事業」があります。国の循環器病対策の進捗評価やその評価方法の検討を行うことが、この事業のミッションです。また、今年度から、厚生労働行政推進調査事業「循環器病対策推進基本計画における循環器病対策の進捗評価及び進捗管理に資する新たな評価指標の実装に向けた研究」（飯原班）が初めて指定研究班として発足しました。

さて、令和8年6月22日（月）午後5時30分から、国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野 教授の埴岡 健一先生をお招きして、第3回循環器病対策情報センター講演会を開催します。

ロジックモデルという言葉は、皆さんご存じでしょうか？

ロジックモデルは、施策の目的達成に向けた因果関係を可視化した「戦略の設計図」です。投入資源、活動、直接的成果（アウトプット）、最終成果（アウトカム）の連鎖を構造化し、EBPM（根拠に基づく政策立案）を推進するための必須ツールとして世界的に活用されています。埴岡健一先生は、がん対策などの分野でロジックモデルの普及を牽引する第一人者です。さらに各都道府県の循環器病対策推進計画において、地域医療の現状分析から重点施策の導出、成果評価に至るPDCAサイクルに本モデルを導入し、論理的な医療体制構築を推進しています。行政と医学の橋渡し役として、現場の医療戦略を高度化させる役割を担っておられます。

現在、循環器病対策情報センターが取り組むべき、循環器病対策の進捗評価の方向性について、最新の知見や貴重なご経験を話していただけるものと考え、今回の講演会を企画させていただきました。一人でも多くの職員の皆様に、是非参加していただき、今後の循環器病

対策の在り方について議論しませんか？最後になりましたが、今後とも循環器病対策情報センターの活動にご協力、ご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

第3回循環器病対策情報センター講演会

日時 令和8年6月22日（月）午後5時30分から6時30分

場所 研究所2F 第14会議室

タイトル

循環器病対策におけるロジックモデルと指標を活用した評価実装～地域診断と実効的PDCAサイクルへの応用～

演者

国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野 教授

埴岡 健一先生

要旨

本講演では、「ロジックモデルと指標を活用した評価」をテーマに、循環器病対策推進計画や医療計画における評価実装の考え方と実践例を紹介する。

前半では、ロジックモデル、指標、プログラム評価（ニーズ評価・セオリー評価・プロセス評価・インパクト評価）の基本構造を整理し、国のがん対策や沖縄県医療計画など、実際にPDCAサイクルとして運用されている事例を提示する。また、改正医療法や厚生労働省通知において、ロジックモデルと指標を活用した評価が制度的に位置づけられつつあることを概説する。

後半では、脳卒中分野の「評価支援シート（ロジックモデルの上に全国と選択地域の指標計測データが表示されるツール）」を用い、具体的な医療圏を事例として地域診断を実演する。

死亡率、急性期医療、リハビリ、在宅支援等の指標を、ストラクチャー・プロセス・アウトカムの連関として読み解き、短時間で地域課題を抽出する方法を示す。地域の政策立案・評価担当者がロジックモデルと指標をどのように活用できるかの視点から、データを単独で扱うのではなく、熟議と政策形成につなげる評価実践のあり方を追体験する。

これにより、循環器病対策分野のロジックモデル関連成果物に求められる要件を検討するための材料を提供することを目指す。

演者略歴：

- ・兵庫県出身、大阪大学卒
- ・日経ビジネス副編集長
- ・がん（白血病）患者遺族→日本骨髄バンク事務局長

- ・東大・医療政策人材養成講座・特任教授
- ・がん対策基本法を提唱→国・がん対策推進協議会委員
- ・都道府県、市町村などのがん対策、医療計画、健康増進計画、在宅医療介護連携事業のPDCA サイクルを支援
- ・日本評価学会 認定評価士
- ・厚生労働省都道府県研修講師：
 - 医療政策研修会ロジックモデル研修（2026年3月/2023年6月）
 - 循環器病対策推進計画策定研修会（2020年11月/12月）
 - 地域医療計画策定研修（2016年10月）
- ・がん対策推進協議会参考人「ロジックモデルを活用した中間評価」（2025年7月）

【ご案内】第3回循環器病対策情報センター講演会
（2026.6.22（月）17：30より開催）

■参加登録URL

<https://forms.office.com/r/BqncGTzHaY>

第3回循環器病対策情報センター講演会

日時 令和8年6月22日(月) 17:30 ~ 18:30

会場 国立循環器病研究センター研究所 2F「第14会議室」

(大阪府吹田市岸部新町6-1)

座長 国立循環器病研究センター循環器病対策情報センター長

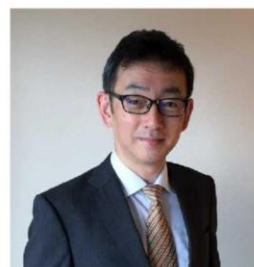
飯原 弘二 先生

循環器病対策におけるロジックモデルと

指標を活用した評価実装

～地域診断と実効的 PDCA サイクル

への応用～



演者 国際医療福祉大学大学院 医療福祉ジャーナリズム分野 教授

埴岡 健一 先生

※ご参加希望の場合、右記二次元コードまたは、下記 URL

(<https://forms.office.com/r/BqncGTzHaY>) より

6月22日(月) 正午までにお申込みくださいますようお願いいたします。



国立循環器病研究センター 循環器病研究センター長 飯原 弘二

事業計画班 副主査 石上 晃子、星野 宏道、尾形 宗士郎

情報発信啓発班 主査 北井 豪、副主査 吉村 壮平

厚生労働省行政評価調査事業費「循環器病対策推進基本計画における循環器病対策の進捗評価及び進捗管理に資する新たな評価指標の実証に向けた研究」班
(26FA2003 研究代表者 飯原弘二)